

[illegible]

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	商工観光課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	本市は数多くの歴史文化資源や自然資源、豊かな農林産物など多彩な資源を有しており、こうした条件を生かし、体験交流事業を組み立て実施し、交流客の増加を図るためには、本市の魅力を各種メディアを通じて情報発信し、豊後大野市の知名度の向上を図ることが重要である。					
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	行政のみならず観光協会をはじめ各種団体を通じたPRが可能のため。					
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	事業の企画や実施に関する業務は、当面、行政の支援が必要のため。					
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	豊後大野市の資源を生かした体験交流事業の実施、あらゆる機会を通じた情報発信が実施できたため。					
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	ホームページや観光パンフレット、ポスターなど観光情報を発信する上での環境整備が不十分であるため。					
人 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	兼任業務であり、現状の人員以上の削減が困難なため。					
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	観光振興を図る上では、引き続き情報発信することで知名度の向上を図らなければならない。そのため、予算のみならず兼務体制も維持していく必要があるため。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
平成19年度に策定した「豊後大野市観光まちづくりビジョン」では、「都市の暮らしと農村の暮らしを結ぶ 田園交流都市」を目標に掲げ、その実現に向け多様な資源を活用した「保全」「食」「癒し」「学び」「遊び」の五つを戦略とする「ライブ・ツーリズム」を推進することとした。さらにこの目標実現に向け、市民及び観光関連団体並びに事業者との連携を重視し取り組んでいくこととした。 ライブツーリズムを市民と一体となって推進することで、総合計画が目指す「やさしく、たくましく、ともに築く豊後大野市」に、さらに住んでよし訪れてよしの魅力ある豊後大野市づくりに向けた協働のまちづくりが実践できるものとしています。 この観光まちづくりビジョンをもとに、各種体験交流事業を組み立て実践し、情報発信することで交流客の増加を図り、観光振興の面から協働のまちづくりの一翼を担う。						
部 長	課 長	班 長	担当者			
			内線 2409 E-mail @bungo-ohno.jp			